

産婦人科



産婦人科の紹介

産科婦人科研修によって、産科ではヒトの妊孕生理とその病態、また、分娩の過程に深く関わることをできます。婦人科手術では、系統化された術式を通じて基本手技を習得し、骨盤底部に及ぶ解剖を学ぶことができます。不妊治療分野に関しては連携施設での研修によって先端の生殖補助医療によるヒトの発生から誕生という神秘に触れることができます。この様に、産科婦人科学は医学の中でも極めて興味深い領域を含んでいます。生命の誕生からその終末期まで医学のあらゆる分野に関わりを持つ産婦人科を選択することは医師となるための過程において重要な意味を持ちます。当科における高度な医療の経験は有意義な卒業研修となることでしょう。

プログラムの目的と特徴

産科婦人科の研修ガイドラインに従い、産科・婦人科・生殖内分泌・女性医学の各分野において、臨床に必要な基本的知識、主要疾患の診断ならびに治療・技術を習得できます。産科では、研修早期より帝王切開術の執刀を経験でき、婦人科では腹腔鏡手術の助手や執刀医としての経験を積むことができます。手術研修には全国でも数少ない Cadaver Training system を導入しており、腹腔鏡下子宮全摘術や骨盤リンパ節郭清のトレーニングが可能です。

経験目標

産科疾患・婦人科疾患・生殖内分泌疾患・女性医学関連疾患の診断・治療に関する経験と知識を習得します。

- 超音波検査で、胎児の推定体重・血流測定などの産科的評価法に関する手技を習得する。
- 分娩の流れについて理解し、指導医の指導の下、内診によって分娩進行を評価し、分娩助・帝王切開術の手技を含めた分娩管理法を習得する。(手術の執刀は研修開始3ヶ月から)
- 婦人科疾患では、超音波検査・CT・MRIなどの読影を行い、コルポスコピーや内診による腫瘍病変の評価方法を習得する。
- 婦人科手術手技について理解し、基本手技や周術期管理を習得する。
- 腹腔鏡手術において、カメラ操作や基本手技を習得する。
- 人工受精・体外受精などの手順や基本手技を理解する。
- 受精卵を観察し胚移植の手技を理解する。

指導医と指導体制

日本産科婦人科学会専門医の指導の下、患者を担当するグループの一員として診断や治療に携わります。

杉山 隆 (主任教授)	周産期(母体・胎児)専門医・指導医、内分科学会専門医・指導医、肥満学会専門医・指導医、東洋医学専門医
松原 圭一 (教授)	周産期(母体・胎児)専門医・指導医、臨床遺伝専門医・指導医、産婦人科内視鏡技術認定医、日本内視鏡外科学会(技術認定医:産科婦人科)がん治療認定医、婦人科腫瘍専門医、日本女性医学学会専門医
藤岡 徹 (准教授) (診療科長) (医局長)	婦人科腫瘍専門医・指導医、産婦人科内視鏡技術認定医、日本内視鏡外科学会(技術認定医:産科婦人科)
松元 隆 (准教授)	婦人科腫瘍専門医・指導医、がん治療認定医、細胞診専門医
松原 裕子 (講師)	婦人科腫瘍専門医、臨床遺伝専門医、周産期(母体・胎児)専門医
宇佐美 知香	婦人科腫瘍専門医、細胞診専門医・指導医、がん治療認定医、産婦人科内視鏡技術認定医
内倉 友香 (病棟医長)	周産期(母体・胎児)専門医・指導医、女性医学専門医、臨床遺伝専門医、内分科学会専門医
森本 明美	婦人科腫瘍専門医
安岡 稔晃 (外来医長)	産婦人科内視鏡技術認定医、婦人科腫瘍専門医、がん治療認定医、臨床遺伝専門医、生殖医療専門医
横山 真紀	日本産科婦人科学会専門医

* 愛媛大学医学部附属病院は、周産期専門医・婦人科腫瘍専門医・腹腔鏡技術認定医・臨床遺伝専門医・内分科学会専門医・女性医学専門医・がん治療専門医の研修(修練)指定施設です。

研修に関する行事

臨床カンファレンス	月木金曜日	8時15分～	火水曜日	8時30分～
症例(手術)カンファレンス	毎週水曜日	14時00分～		
産科・NICUカンファレンス	毎週月曜日	8時30分～		
周産期カンファレンス	第4水曜日	18時00分～		
病理カンファレンス	第3水曜日	18時00分～		
放射線科合同画像カンファレンス	第4月曜日	18時00分～		

新専門研修プログラムについて

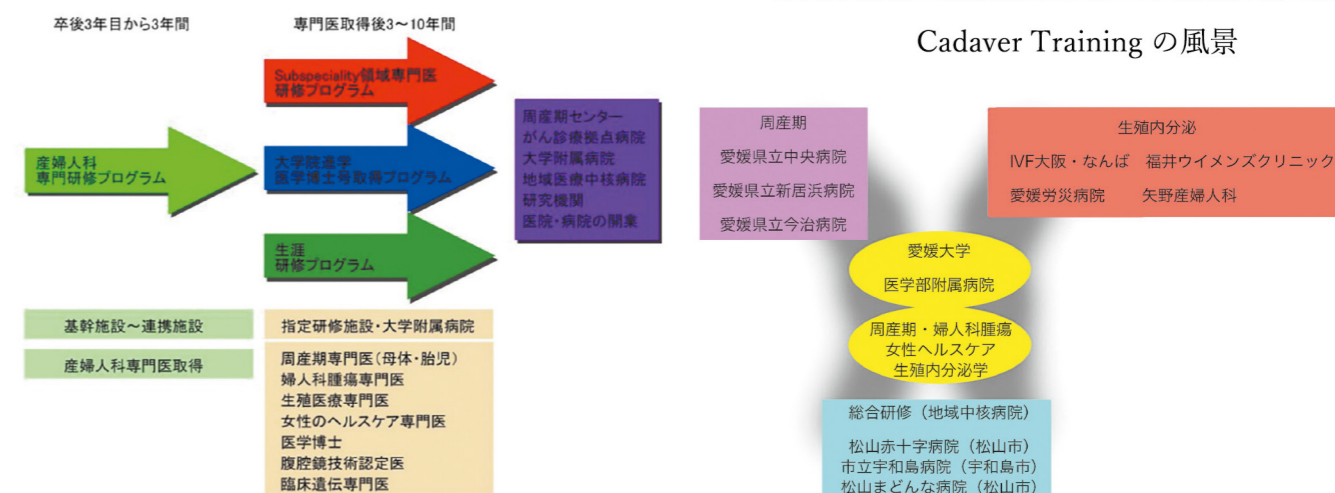
基幹施設である愛媛大学医学附属病院を中心に、愛媛県立中央病院・愛媛県立新居浜病院・愛媛県立今治病院・市立宇和島病院・愛媛労災病院・松山まどんな病院・IVF大阪・IVF難波・福井ウイメンズクリニック・矢野産婦人科・松山赤十字病院などの連携施設とともに種々のコースを設定しており、研修医の希望に添った形で研修をすることが可能です。(周産期重点コース・婦人科腫瘍重点コース・生殖内分泌重点コース・地域医療重点コース・腹腔鏡重点コース・大学院進学コースなど)

研修終了後について

初期臨床研修終了後、大学病院あるいは連携病院での後期臨床研修において、まず、日本産科婦人科学会専門医の取得を目指します。その後、各種専門医の資格取得に向けて臨床経験を積んだり、大学院に進学したりします。



Cadaver Training の風景



専門研修の問い合わせ先

〒791-0295 愛媛県東温市志津川 454
 愛媛大学大学院医学系研究科 病因・病態領域 産科婦人科学講座
 担当：松原圭一、藤岡 徹
 TEL: 089-960-5379 fax: 089-960-5381
 e-mail: keiichi@m.ehime-u.ac.jp (松原圭一), fujiook@m.ehime-u.ac.jp (藤岡 徹)